

わかくさ



梅花の候



主任
個別対応職員
所谷 英

寒暖差の激しいこの頃、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
四万十市内でインフルエンザが流行り、施設内でも子ども達に多くの感染が見られました。各ホーム感染対策に追われ大変な中、職員も感染し始めるとどうなるものかと思われましたが、職員には拡がらずほっと一安心したことでした。これから受験、進学、就職、引っ越し等、担当職員にとっては一年で一番忙しい時期になります。勤務時間についても無理を強いられることもあり、精神的にも肉体的にも大変な時期になりますが、卒園式で卒園児童の姿を見た時には、今までの苦勞が報われ、一番喜びを感じられる時でもあります。

思い返せば、担当職員として目の前の子どもだけを見ていた17年間と今では、働き方は同じでも中身は全く違うものになったと思います。日常生活にはない楽しさや喜びを子どもと共有できない寂しさはありますが、担当職員が少しでも楽しさや喜びを子どもと共有できるための仕組み作りに着手できることはやりがいがあると思います。今の立場になり早いもので5年が経ちましたが、これからも担当職員が少しでも子どもと思い出を共有し、やりがいにつながられるよう陰ながら支えていけたらと思っています。

昨年はあるホームから声を掛けていただき、ホーム旅行に参加させていただきました。久しぶりに楽しい時間を頂けました。日常生活では注意する事ばかりでも、笑顔で過ごす担当職員の姿が見られると改めてこういった機会の必要性を感じたことでした。こういった機会を設けられるのは支える会の会員様をはじめ多くの方々の支援があってのことだと思います。この機会に感謝を申し上げます。皆様におかれましても年度末に向けてご多忙かと存じますが、益々のご活躍をお祈り申し上げます。

児童家庭支援センター わかくさ

子どもや、家庭のことに
関する相談を受け付けて
います。誰かに話を聞
いてほしい…。ちょっと
困っている…。など、お
気軽にご連絡下さい。

お待ちしております。

☎ 0880-31-0311



クリスマス祝会・サンタさん来訪



若草園では毎年、本園・平野ホーム・具同ホームの皆が集まってクリスマスのお祝いをします。礼拝をしたあとは、ご馳走を囲んでの祝会。歌やピアノの演奏など、余興をやりたい！と手を挙げてくれた子どもたちが、祝会を盛り上げてくれました。



子どもたちの姿を、うっとり見入る大人たち。



この冬はなんと、フィンランドからサンタさんが来てくれました！！



この冬は、管理棟からホームへ向けてのイルミネーションを設置しました。初崎の海の方からも綺麗に見えるようです。



今回初めて中学生の子も出品しました。また今年もチャレンジするようです。



高知県児童養護施設協議会 児童絵画展へ出品していた小学生4名。それぞれ審査員賞・会長賞・全国審査へ推薦に選ばれました。全国審査である児童文化奨励絵画展へ選出された2作品は、入賞、そして金賞を受賞しクリスマス祝会の時にみんなの前で表彰されました。

源平合戦

毎年恒例となっている百人一首の源平合戦を年明けに行いました。写真はバラ戦の様子です。



この絵は、夏にキャンプに行った時に新しくできた友だちといっしょに花火をしているときの絵です。くふうした所は、その色をどんどんくらくしたり、花火を絵の具とクレヨンのきいろやオレンジなどの色で光っているようにした所などです。むずかしかった所は、地面のくらい所やあかるい所などの色をついたり、人のはだや服の色をかきさならないようにぬるのがむずかしかったです。金賞をもらってびっくりしました。

仲良し花火

N・R



仲良し花火
若草園
小5 N・R さん

金賞受賞

お餅つき



今年も年明けの寒い中、中村ロータリークラブの皆さんが来てくれて、一緒にお餅つきをしました。

「よいしょー！よいしょー！」と、幼児さんから高校生まで、なにより大人がはりきっていました(笑)

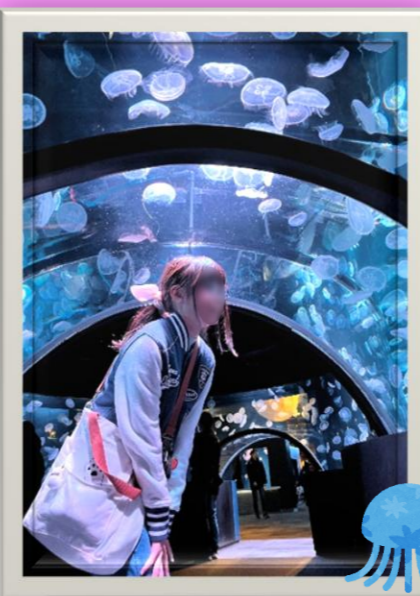
今年木の臼を探していたところ、知り合いに、ある方が臼を寄付してくださいました。この臼は、お孫さんたちとお餅つきをするために、亡くなった旦那さんが手作りで作ったものだそうです。お餅つきをする自然と笑顔になって元気が出る…そんな風景がこの臼を通してこれからも続いていくことを思います。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



楽しかったね

ホーム旅行

旅行などのホーム活動には、運営費からでる活動費の他に、【若草園を支える会】の皆さまからご支援いただいたホーム活動支援金を使わせていただいています。



←京都水族館にてまるでパンフレットにでも載っていきそうな素敵なショット！(o^ー^o)

C ホームは香川県のラウンドワンのスポッチャで楽しんだ後、まんのう公園へ行きました。もちろん、うどんも楽しみました。



A ホームは福岡県へ2泊3日の旅に！城島高原パークや福岡タワーなどへ行き、もつ鍋や温泉も楽しみました。



→金閣寺では、「ほんまに金やあ〜。」と子どもたち(笑)

B ホームは京都への弾丸1泊旅行を楽しみました。



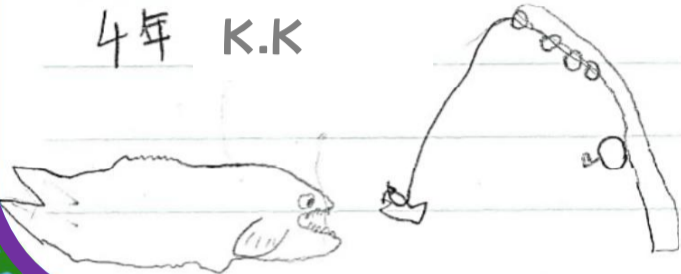
プレゼントありがとう！



ドテラサンのみなさんへ

クリスマスプレゼントをくれてありがとうごさいます。ぼくはもらった物がおいでさるく川に行きた。お台あげつれなから、たけど待つといっぱいおりました。うれしかたでもまたつりにいきたいです。
ありがとうございました。

4年 K.K



この年末年始も、お魚に、お野菜や果物、お菓子やケーキ、表紙のおせち料理など、たくさんのプレゼントをいただきました。いつも若草園にあたたかいお心遣いをいただきありがとうございます。



もらった釣り竿を持って皆で釣りにお出かけ！晩ご飯にカレーを持参して…。寒くても皆で一緒に外で食べるカレーは特別美味しいね！



編集後記

若草園の運営理念に、敬神愛人の精神を基盤にした養育を掲げており、毎月子ども礼拝と職員礼拝のなかで中村栄光教会の牧師さんが説教をして下さいます。今回は【苦みの正体を見抜く】というテーマのお勧めがあったのでご紹介したいと思います。

【いかに辛いことでしょうか。あなたによって勇気を出し、心に広い道を見ている人は。嘆きの谷を通る時も、そこを泉とするでしょう。雨も降り、祝福で覆ってくれるでしょう】

「辛いことや苦しいことが、破滅に通じる道でなく、幸せに通じる道であることを信じなさい。」苦しいことの真ただ中において、心が乱れている時は、この言葉を受け入れることはできないかもしれません。この言葉を受け入れるのには勇気がいります。神を信じて受け入れる勇気、目に見えないものに賭けていく勇気。それは世の多くの人の考えや価値観から別の価値観へと出て行く勇気です。そしてまた、苦しみの中で何か積極的なものを見ようとする勇気です。ある人は「悲しみや苦しみの中でこそ、良書や生涯の師と呼べる人に出会うことができる。」と言っています。それまでは何気なく通り過ぎていたことの中に、生涯力になるものに気づくというのです。慰めは、苦しみのすぐ傍らにあります。人生において苦しみが幸福のプロセスであると見抜き、苦難を乗り越えて「あの苦しみが今の善い人生と、人を支える貴重な体験であった」ということができる人は幸いです。

たなか



若草園の年末年始

年末年始、久しぶりに家族や親戚と過ごした子ども、ホームで兄弟と年越しを過ごした子ども、里親さんのお家や職員の実家で過ごした子ども、それぞれの年末年始がありました。

中には卒園生が帰って来て、懐かしくにぎやかな新年を迎えたホームもありました。また、嬉しい再会もありました。小学生の頃に一緒に若草園で過ごした友達が、本当に久しぶりにこちらの親族のもとへ帰省してきたという

ことで、若草園にも顔を見せに来てくれました。当時仲の良かった女の子に連絡すると、ホームから飛んで会いにきました。9年ぶりの再会に、お互い「変わってない〜。」と、少しの時間でしたが終始にここに顔の2人でした。

